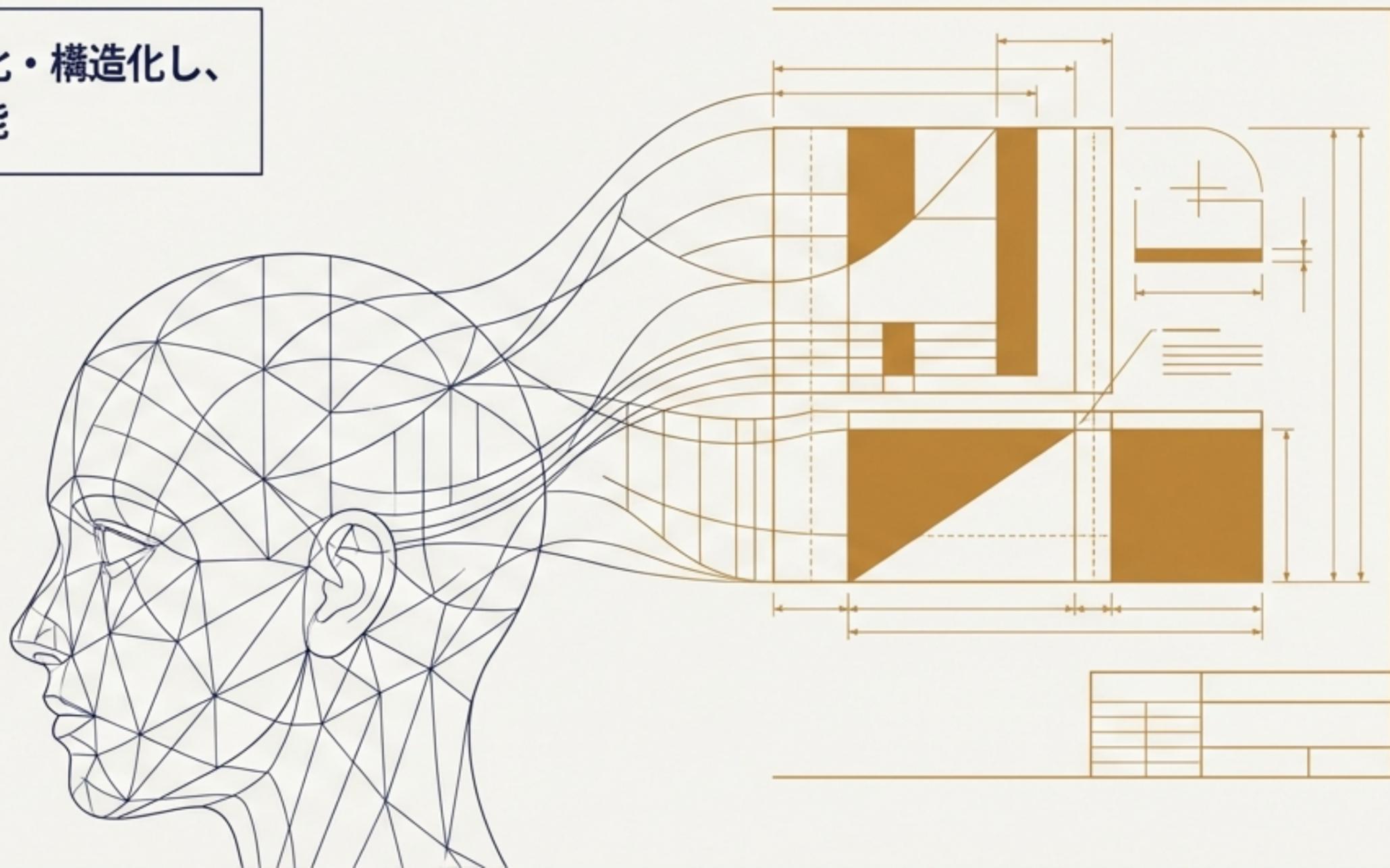


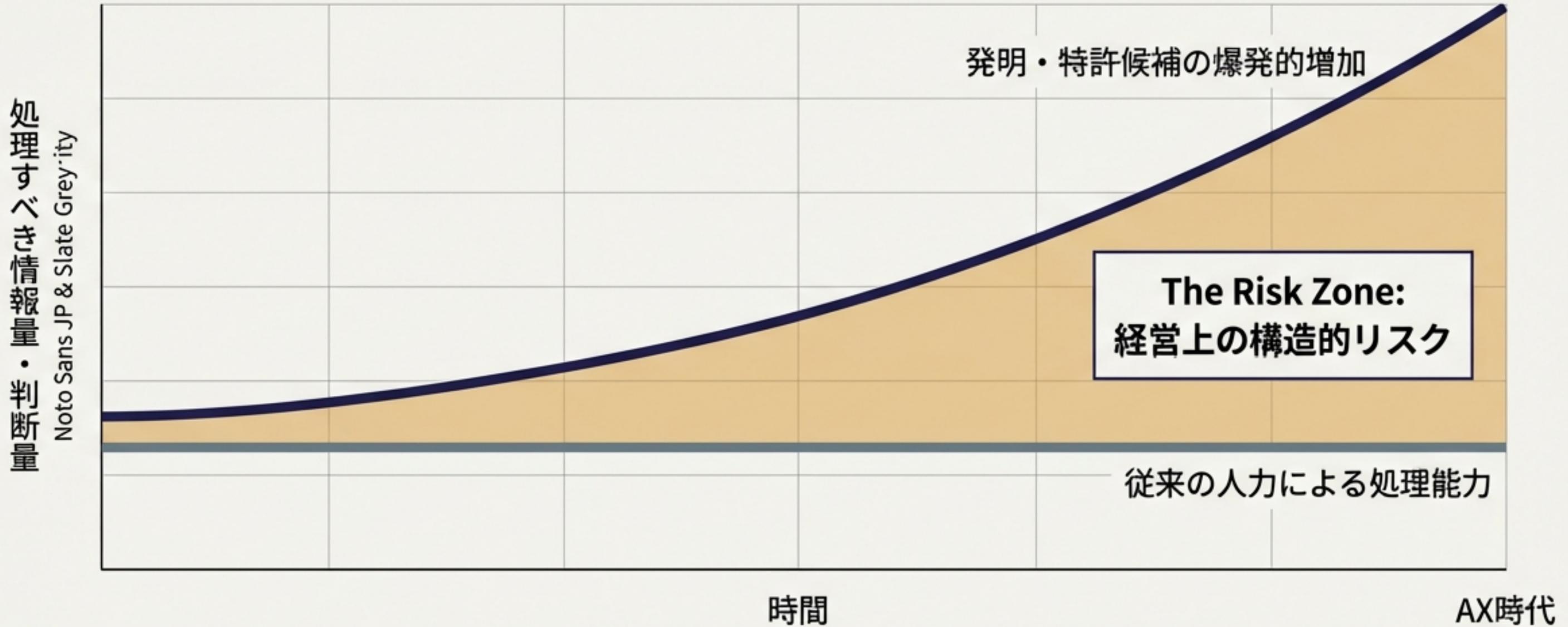
# 暗黙知から形式知へ：AX時代の AX時代の知財判断インフラを再定義する

ベテランの「思考プロセス」を可視化・構造化し、  
次世代へ継承するTokkyo.AIの新機能



# 発明候補の爆発的増加が引き起こす「知財インフレ」の脅威

AI Transformation (AX) 時代において、技術進化は加速し特許候補は急増。  
従来の人力処理では判断の遅れが生じ、競争力低下に直結する。



# 私たちが直面している最大の経営リスクは「知財業務の属人化」である

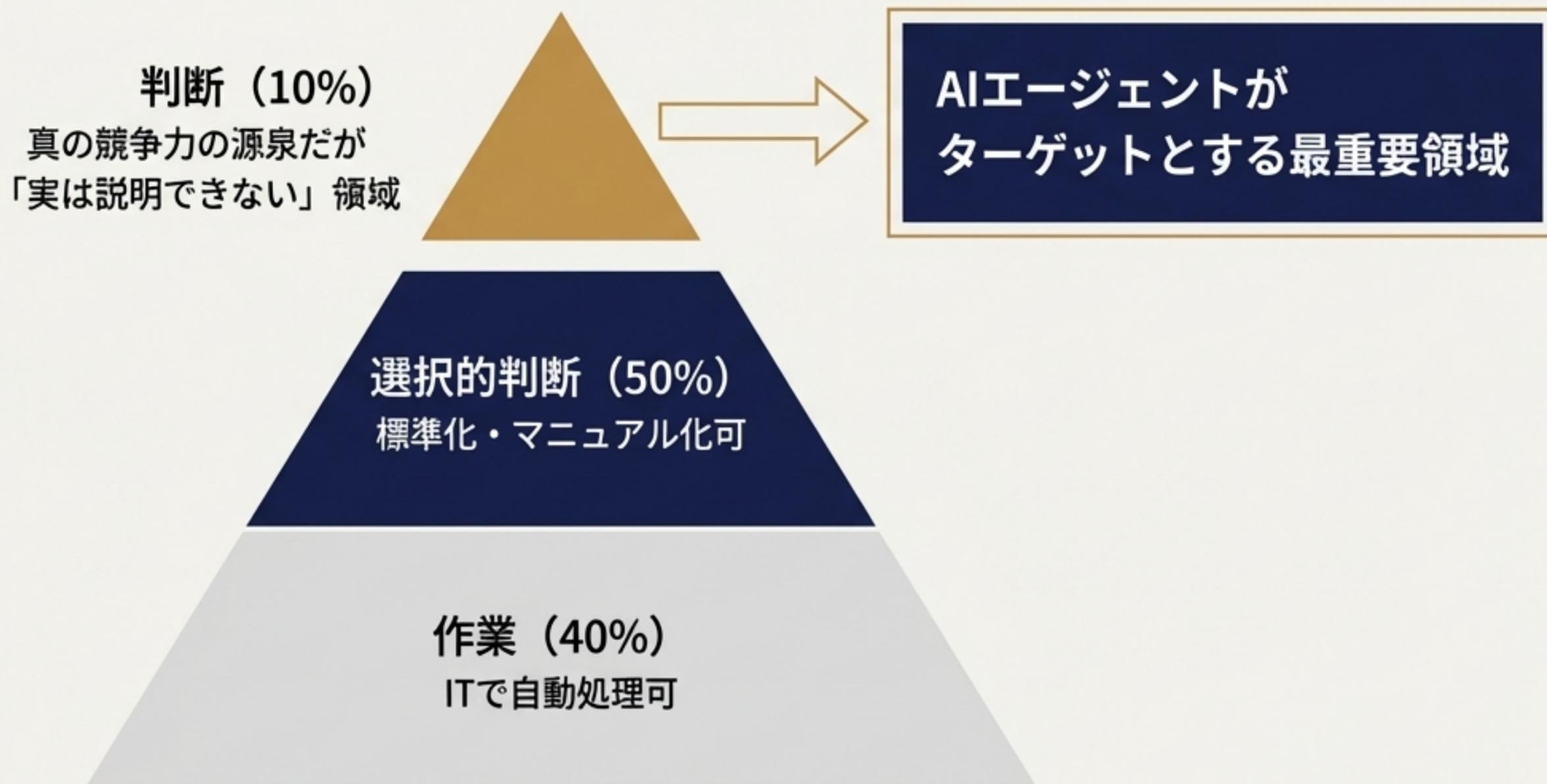
長年にわたり、企業の競争力の源泉である「重要な判断」は、特定のベテラン人材の経験と記憶に依存してきた。退職や異動による知財判断力の喪失は、事業継続性を脅かす。



退職・異動に伴う『暗黙知』の完全消失

IT化で代替できるのは「作業」であり、失われているのは「判断」である

業務の大部分は標準化・自動化が可能だが、真の付加価値を生むトップ10%の「コアな判断」は言語化されず、ブラックボックス化している。



# ベテランの思考プロセスを可視化する「育成支援AIエージェント」の誕生

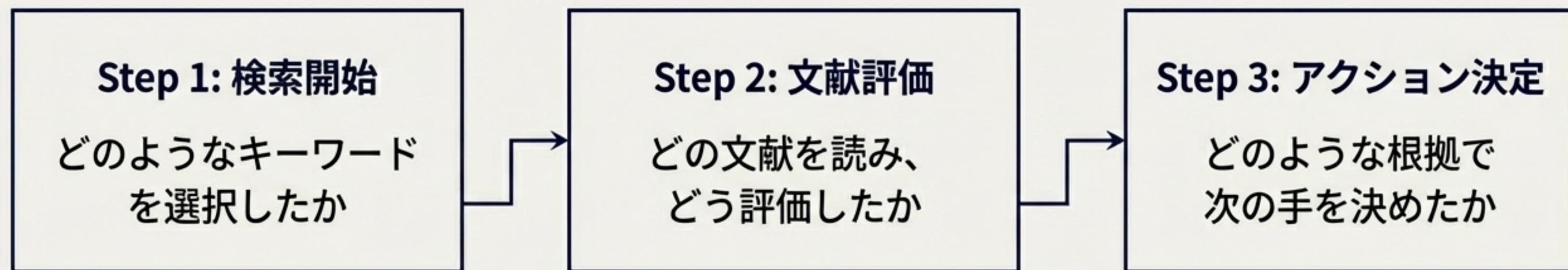
リーガルテック社は2026年3月23日、Tokkyo.Aiに専門家の暗黙知をデータ化し、組織内で共有可能にする新機能「Felo AI」を実装。



属人的な『プロセス』を構造化された『データ』へ変換

## 核心技術：ブラックボックス化していた「思考プロセス」をデータ構造化する

AIが専門家のアクションの裏にある「理由」を記録。若手担当者がその論理展開を追体験できる環境を構築する。



**理由の説明可能化 - これが再現性の鍵となる**

# 「作業の効率化」から「人の育成」へ：従来のリーガルテックとの決定的な違い

定型業務を自動化する従来のツールとは一線を画し、経験依存型の業務プロセスを「組織として継承可能な再現可能型」へ転換する。

	従来のリーガルテックツール	Tokkyo.AI 新機能
主眼	作業の効率化	やり方の蓄積と「人を育てる」こと
対象データ	処理結果・アウトプット	判断の「理由」と「思考プロセス」
組織モデル	経験依存型	再現可能型

# 「暗黙知の形式知化」は全産業における普遍的な経営課題となっている

ベテランの知見を生成AI等で抽出し組織知化する動きは、知財部門に留まらず、あらゆる産業で同時多発的に進行しているメガトレンドである。



## コンサルティング業界

KPMGジャパンが『暗黙知の形式知化エージェント』を導入（2026年1月）



## 製造業

熟練技術者の勘やコツをデジタル化し技能伝承へ



## 小売業

ベテラン店員の接客ナレッジを生成AIに学習させ全店で再現



## 行政

公務員の経験に依存した業務ノウハウの可視化と引き継ぎ効率化

# 属人的なOJTから、AIを通じた「再現可能な育成基盤」へのパラダイムシフト

限られた時間と個人の教え方に依存するOJTを脱却し、誰もがトップパフォーマンスの論理的思考を「追体験」できる学習環境を提供する。

## 従来のOJT



教え方にばらつき・長時間を要する

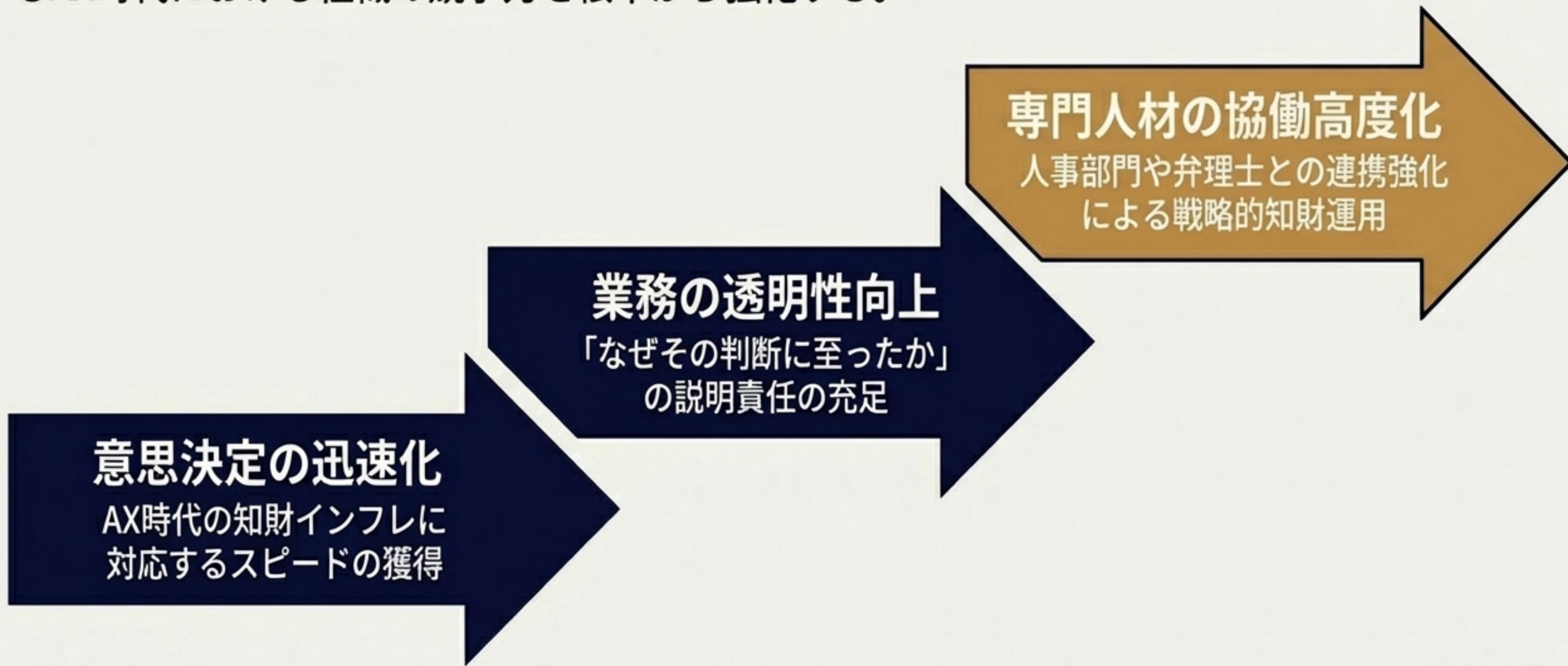
## AIエージェントによる再現可能な育成



トップ層の思考プロセスを常時『追体験』可能

# 組織全体の「知財判断力」を底上げし、意思決定のスピードを劇的に高める

暗黙知の可視化は、単なる属人化の解消に留まらない。業務の透明性を高め、発明候補が激増するAX時代における組織の競争力を根本から強化する。



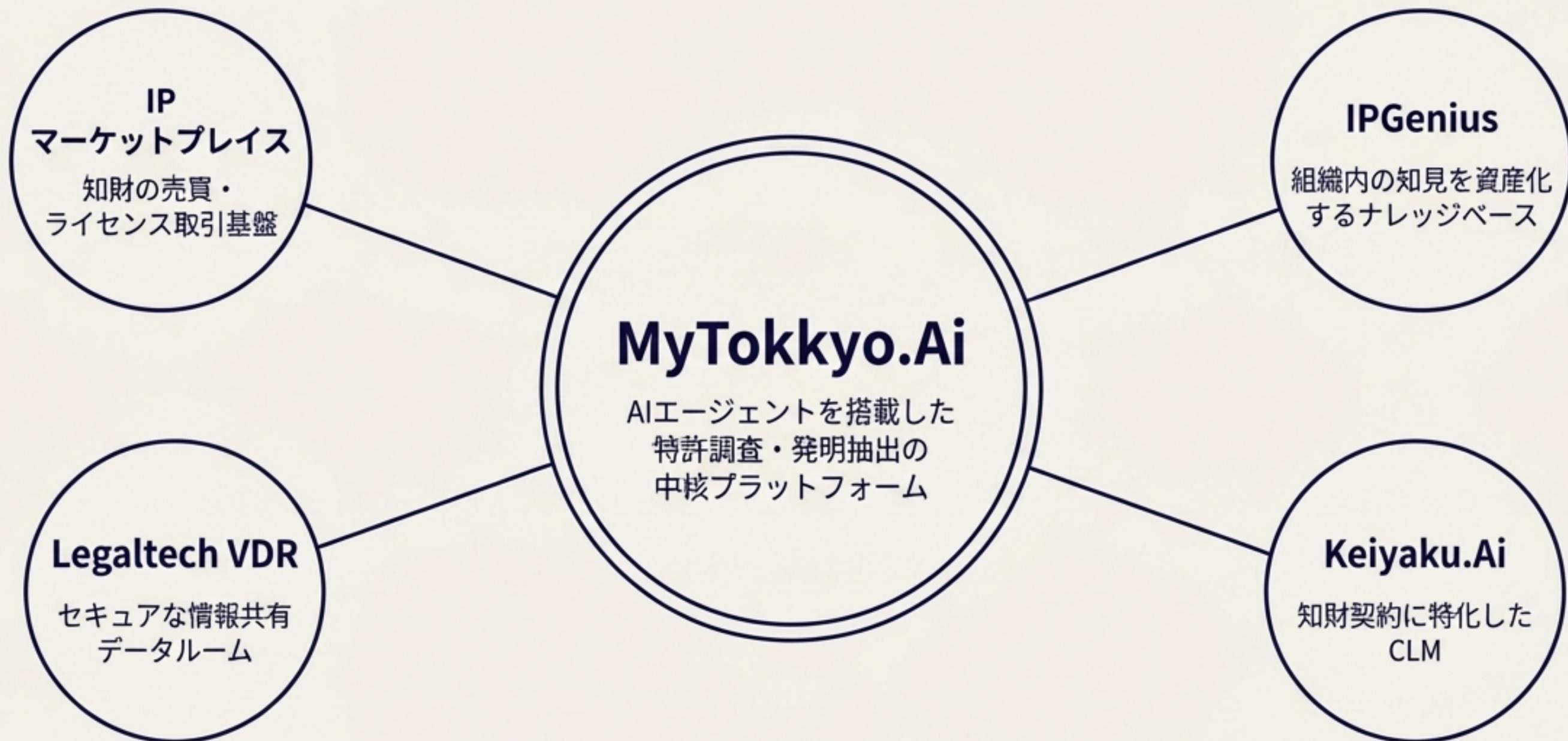
# 守りの知財部門から、経営基盤を支える「プロフィットセンター」への進化

特許の市場価値や事業影響度をAI分析で数値化することで、特許業務を事務作業から、企業の競争力を直接的に創出する戦略的資産へと昇華させる。



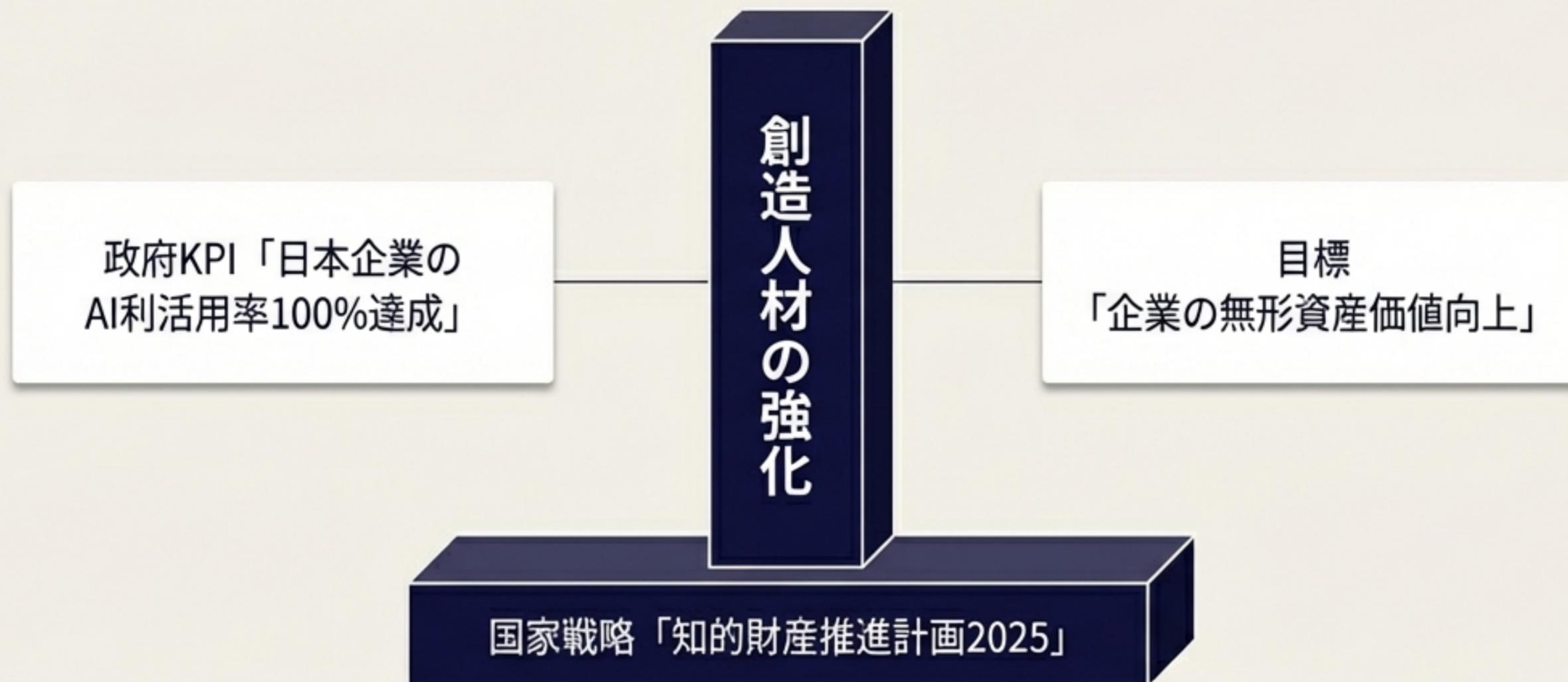
# 「知財の民主化」を実現するリーガルテック社のサービスエコシステム

AI技術を駆使し、知財の創出から収益化までをワンストップで支援する知財特化型のプラットフォームアーキテクチャ。



# 国家戦略「知的財産推進計画2025」が掲げる創造人材強化への完全な合致

内閣府が策定した国家戦略において、AIを使いこなす人材の育成と全社員レベルの知財リテラシー向上は最重要課題として位置づけられている。



**Tokkyo.AIは、この国家要求に対する最も直接的かつ実務的なソリューションである。**

# あらゆる企業の「判断のOS」へ： 業界別分析モデルが切り拓く知財の未来

リーガルテック社は、企業規模を問わず知財判断力の底上げを支える  
インフラとなるべく、プラットフォームの拡張を継続する。



# AIを活用し、組織に「判断」という 最も価値ある知的資産を継承する

人が去っても、その研ぎ澄まされた思考回路は組織に残り続ける。  
Tokkyo.AIは、真の企業価値を守り抜くための新たなインフラとなる。

属人的な「経験」



永続的な「企業価値」

Legaltech Inc. / Tokkyo.AI  
AIを活用して組織の知的資産を継承する。